

## Part3

# 総合経営史45年 の歩み

社会情勢と業界情勢、そして、お客様のニーズは、  
時代とともに目まぐるしく変化します。  
そのなかでも、変わることのない信念があります。  
愛グループの歩みは、挑戦の連続です。  
私たちはこれからも、  
自ら超えるべきハードルは高く掲げ、  
一步、一步、確実に歩み続けていきます――。

096 —— Chapter1 1972～2011年

104 —— Chapter2 2012年

106 —— Chapter3 2013年

108 —— Chapter4 2014年

110 —— Chapter5 2015年

112 —— chapter6 2016年

114 —— 愛グループ 5年間のM&A

1972

昭和47年

### 「(株)下関市冠婚葬祭互助会」を設立

神田忠、28歳。昭和40年代の高度経済成長期、自らの理想を具現化する新しい互助会の設立を実現するため、独立を果たした。設備も資金もないゼロからの出発だったが、神田代表は夢に共感する人々とともに意気揚々と未来を見つめていた。

昭和47年6月14日、山口県下関市において(株)下関市冠婚葬祭互助会(会員事業部門)と(株)西日本サービスセンター(会員への役務サービス/施行)を設立した。

当時、下関市内には4つの互助会が活動しており、山口県冠婚葬祭互助会から合併の話が持ち込まれ、神田代表はこれを好機ととらえて了承した。



神田代表28歳 創業時の写真



山口県冠婚葬祭互助会ビル



昭和47年6月に設立された下関冠婚葬祭互助会と第一期生(前列中央が神田代表)

1977

昭和52年

### 「ウエディングプラザ 下関平安閣」誕生

山口県内初めての総合結婚式場「ウエディングプラザ 下関平安閣」が、10月にオープンした。構想から完成まで3年、愛グループ初の一大プロジェクトであった。

オープニングセレモニーには、安倍晋太郎代議士をはじめとする来賓約500名が参加し、大盛況となった。関門海峡を望む白い結婚式場は人気を独占し、九州や山陰地区からも挙式の申込みが殺到した。



ウエディングプラザ 下関平安閣

1979

昭和54年

### 「日本セレモニー」に社名変更

昭和54年1月、山口県冠婚葬祭互助会は、イメージアップと社員の意識向上をはかるため「日本セレモニー」に改称。併せて、結婚式と葬儀をイメージした白い鳩と着い鳩を図案化し、シンボルマークを制定した。また、会員向けの情報誌を「ふれあい」と改め、社内報も「Comrades to Aim at Triumph(勝利を目指す仲間たち)」の頭文字をとつて「CAT」とした。



新ロゴマーク



[CAT] 昭和54年6月号 [CAT] 昭和53年12月号

1980

昭和55年

### 大阪エリアに進出

創業から7年後、日本セレモニーは山口県全域のネットワークを完成させると、神田代表は西日本一大都市大阪に目を向けた。

大阪進出にあたっては綿密な市場調査を行い、昭和55年1月に第一陣が出発。3月には高槻市に大阪本部を開設し、本格的な会員募集活動を開始した。併せてJR高槻駅南口に「結婚センター華やぎ苑」をオープンした。

翌年1月には、揖津市に「おおさか典礼1号店」をオープン。その後も支店の開設が続き、大阪進出からわずか1年余りで支店を数え、加入口数は1万口を突破した。



大阪本部



大阪進出行会

1982

昭和57年

### 創立10周年記念式典

創立10周年を記念して、6月に山口本社と大阪本社で式典が開催された。

神田代表は「これまでの10年は日本一を目指すエネルギー充電期、これから10年は充実期としなければならない」と語った。

節目となったこの年、7月には山口合同社屋と徳山合同社屋が営業を開始。8月には合掌堂宇部店と「婚礼家具の愛 周南店」がオープン。9月には、愛グループ第3の総合結婚式場「宇部平安閣」が華々しくオープンした。

(株)セレモニー通商  
(現トレーダー愛 山陽本線側より臨む)

1984

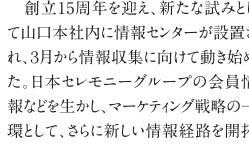
昭和59年

### 「(株)セレモニー通商」設立

昭和59年2月、(株)セレモニー通商を設立。(有)まる忠(昭和50年設立)の日本セレモニーグループにおける流通機能を引き継ぐ形だった。グループに供給する全ての品物を一括仕入れすることが可能になり、セレモニー通商の設立は、企業体質の強化に繋がった。



大阪本部



大阪進出行会

1987

昭和62年

### 山口本社内に情報センターを設置

創立15周年を迎えて、安培晋太郎氏の山口県民葬が執り行われた。参列者6,500名を超える大規模の施行は「やまぐち典礼」の威信をかけた一大プロジェクトであった。県民葬には、政界をはじめとする各界のリーダーや、多くの著名人が全国各地から訪れ、日本セレモニーの名はもちろん、葬祭サービスの質の高さもアピールすることになった。

また、昭和55年に「周南平安閣」として誕生した「ウエディングパレス愛 周南」の改装工事が、この年着手された。女性の意見を多く取り入れ、インテリアコーディネーターやカラーコーディネーターを活用。内装の全面工事と教会の新設を行い、翌年には山口県で初めてチャペルのある結婚式場がオープンすることになった。



愛グループ本社に情報センターを設置

1990

平成2年

### 新生「日本セレモニー グループ」誕生

平成2年2月、北九州を基盤とする西日本セレモニーグループから営業権譲渡の申し出があり、受諾する。西日本セレモニーグループとの企業合同は、新しい日本セレモニーグループを誕生させ、後の飛躍の大きな原動力となった。

西日本セレモニーグループ・日本セレモニーグループ  
企業合同式典

1991

平成3年

### 安培晋太郎氏の県民葬

平成3年6月17日「やまぐち典礼」にて、安培晋太郎氏の山口県民葬が執り行われた。参列者6,500名を超える大規模の施行は「やまぐち典礼」の威信をかけた一大プロジェクトであった。県民葬には、政界をはじめとする各界のリーダーや、多くの著名人が全国各地から訪れ、日本セレモニーの名はもちろん、葬祭サービスの質の高さもアピールすることになった。

また、昭和55年に「周南平安閣」として誕生した「ウエディングパレス愛 周南」の改装工事が、この年着手された。女性の意見を多く取り入れ、インテリアコーディネーターやカラーコーディネーターを活用。内装の全面工事と教会の新設を行い、翌年には山口県で初めてチャペルのある結婚式場がオープンすることになった。



故 安培晋太郎氏県民葬

1992

平成4年

### グループ名を 「愛グループ」に改称

創立20周年を迎えた日本セレモニーグループでは、「日本セレモニーグループ」の名称を「愛グループ」と改称し、ハートをイメージしたシンボルマークを新たに定めた。

社外向けには「20周年ハローウエディング」などのイベントやパーティが企画され、社員向けには4泊6日のハワイ旅行を実施した。このハワイ旅行は、年商160億円、従業員数2,000人を越える組織となった「愛グループ」の規模を再確認し、コミュニケーションを深める機会となった。

また、「セレモニー通商」を「トレーダー愛」に改称し、事業拡大のための体制強化を行うとともに、今後増加が予想される海外取引にも対応できる組織へと変革した。



愛グループプロゴマーク



愛グループに変更の告知広告



1994

平成6年

### 大阪流通センター開設

4月、摂津市から寝屋川市に「大阪流通センター」を新築移転。生花・ラボ・印刷・クリーニングの各センターのはか、倉庫機能をも有した一大流通センターの完成により、大阪地区の流通機能は飛躍的に向上した。この充実した機能が、大阪地区の発展に大きく貢献していく。

1995

平成7年

### 「ザ・グランドホテル パレス愛」誕生

6月、山口県防府市の防府グランドホテルの買収話を持ち上がり、神田代表は立地、市場、競合などを総密に調査した上で買収を決断。大規模な改修工事を行い、南欧リゾート風の本館と独立型チャペルをもつ「ザ・グランドホテルパレス愛」に生まれ変わった。



ザ・グランドホテルパレス愛外観



トレーダー愛本社事務所

1992

平成4年

1999

平成11年



創立25周年記念式典



25周年イベントの華となった美女(?)たち



福岡ドーム(現:福岡ヤフオク!ドーム)で行われた記念祭として大運動会を実施

1997

平成9年

### 創立25周年記念式典

2月、愛グループは創立25周年を迎え、過去に類を見ない大イベントを挙行した。社員のみならず、対外的にアピールするため、協力業者や来賓の方々を招き、福岡のシーホークホテル(現ヒルトン福岡シーホーク)で記念式典、隣接する福岡ドーム(現福岡ヤフオク!ドーム)で記念祭を行った。創立25周年記念式典は、愛グループ第二草創期へのタイミングポイントとなった。

また、創立25周年の記念事業の柱として、コンピューターシステムの全面的な再構築が行われた。AiBIS(Aigroup Business Information System)と名付けられた新システムの概要は全業務にわたり、併せて山口・福岡・大阪・京都の各拠点に120台のパソコンを設置し、業務効率の大幅な改善を実現した。



福岡ドーム(現:福岡ヤフオク!ドーム)

1998

平成10年

### 再建と改革

#### 「(株)あいプラン」が誕生

平成9年3月、互助会保証(株)から、札幌冠婚葬祭互助会の再建を要請された。神田代表はただちに相談役に就任し、平成10年5月からは最高経営責任者(CEO)として本格的な経営指導にあたった。3ヵ年計画を策定して改革を推進し、札幌冠婚葬祭互助会は「(株)あいプラン」として生まれ変わり、再建への道を歩み始めた。

同時に、北九州市八幡東区の家具・寝具販売会社「原田家具」(その子会社)「暮らしの友の会」(会員数2万6000人・積立金3億4500万円)の救済にも乗り出した。

通商産業省から要請を受けた神田代表は、愛グループが受け皿となることを承諾。6月に「愛グループ友の会」を設立し、会員譲渡の契約を結んだ。

1999

平成11年

### 「(株)下関互助センター」 より会員譲渡

下関で、同業の老舗である下関互助センターより8,400人の会員譲渡の申し出があった。長年のよきライバルとして旧知の間柄だった神田代表に会員を譲りたいという下関互助センターからの申し出に、神田代表は感動無量だった。

しかし、難航した統合もある。岡山県全域を基盤とするカルチャーグループは、傘下にベルモニー(株)、(株)ベルモニー岡山、(株)カルチャーホテル、(株)平安閣の4社があり、業績低下や施設の老朽化、60億円もの借入金など、問題は山積だった。借入金をめぐる金融機関との交渉は難航したが、不動産を愛グループへ売却し、返済に充てることで落着した。



愛グループ、カルチャーグループ合同説明会

## 2000

平成12年

### 新生「日本セレモニー」誕生

8月、互助会部門の(株)日本セレモニーと施行部門の(株)セレモニー愛を合併し、新たに(株)日本セレモニーとしてスタートした。これにより、経理処理等の管理部門業務のスリム化と迅速化が図られ、営業部門へのバックアップ体制がさらに強固になった。

10月、広島の株中国セレモニーの破綻危機の知らせを受けた際も、神田代表はすぐさま救済の道を探った。再建のポイントは、加入推進部の建て直しだった。組織の再編と合理化により組織の充実を図り、同時に、マリバール尾道、三原の両結婚式場の外観・内装に至るまでのリニューアルを決断。また、フェニーネラル部門では、尾道、三原地区に典礼会館の建設を決めた。企業合同の後は、愛グループのカハハを導入したことにより、社員のモラルも向上し、破綻危機が嘘だったかのように、地域ナンバーワンの地位を確固たるものにしていった。



中国セレモニーグループとの合併を伝える告知記事

## 2001

平成13年

### トレーダー愛「上海事務所」を開設

愛グループの流通部門を担うトレーダー愛は、コストダウンのため海外の市場に目を向けていた。平成9年から、オーストラリアなど一部海外取引を行ってきたが、品質はなかなか追いつかず、多数商品での本格的な取引には至ら

ていなかった。しかし、平成12年4月に開催された国際的な見本市「広州交易会」において、多彩な商品と想像以上の品質の高さに触れ、中国製品の導入を決断。翌年3月には「上海事務所」を開設し、レーダー愛のグローバル化がスタートした。

この頃、葬儀に対するニーズが大きくなり、生前に葬儀の形式や内容を決めておきたいと希望する人が増えた。愛グループでは、こうしたニーズに応えるためにNPOを設立し、典礼会館に相談窓口を設けた。

愛グループでは社会的責任を果たす企業として4月に、(財)日本品質保証機構(JQA)よりISO9001の認証登録を取得した。消費者に対する品質保証と品質管理体制が認められ、愛グループの提供するサービスが消費者ニーズに沿った最高水準であることが証明されたといえる。

## 2002

平成14年

### 大阪の葬儀社「(株)敬裕社」をM&A

1月、M&Aの仲介業者を通じて「(株)敬裕社」との企業提携の案が浮上した。敬裕社は、大阪市東淀川区内を商圏とする葬儀社で、病院や自治会などとの結びつきが強い地域密着型の企業であった。

愛グループの目指す地域密着型経営に加えて、典礼会館の空白地帯であった大阪市中心部への進出を考えると、この提案は十分に検討価値があつた。

セント・ポールズパーク プリムローズ(岡山市)



創立30周年記念式典の様子

た。半年後の7月27日、愛グループと敬裕社は契約締結の運びとなった。

また3月には、岡山市にブライダル事業30年目の集大成である「セント・ポールズパーク プリムローズ」が誕生。

平成不況のなかにあっても、京都、大阪、岡山、広島、山口、福岡と営業エリアを拡大。結婚式場14ヶ所、典礼会館36ヶ所、前受金564億円、総売上325億円の規模を誇る、名実ともに大企業として認知されるようになった。

30周年記念式典は、神戸ポートピアホテルで行われた。式典に次いで山本寛斎氏による記念講演、懇親会、地域別演芸大会など多彩な催し物がパワフルに繰り広げられた。

## 2004

平成16年

### フランス料理の「鉄人」を起用

愛グループでは、フランス料理の「鉄人」と呼ばれるフィップ・バットン氏に、レストラン「クラブ ヴィアージュ」の監修を依頼したのをきっかけに、料理部門全般のスーパーバイザーとして起用した。全ての結婚式場で提供可能なブライダル特別料理「バッテンスペシャルコース」を開発した。



フィリップ・バットン氏  
バッテンスペシャルコース

## 2005

平成17年

### 「1et1」誕生と「假屋崎省吾氏」の起用

4月、従来のベーカリーセンターをベストリーセンターに改め、9月にはベストリーのオリジナルブランド「1et1(アン・エ・アン)」を創出。パティシエがお客様の目前でデザート作りを披露する実演ブッフェという新しいスタイルを確立した。

生花部門は「セント・ポールズパーク プリムローズ」以降に新設、改修された施設全てにフラワーフォリエを設置し、華道家・假屋崎省吾氏をプロデューサーとして起用した。



假屋崎省吾氏



「1et1」イメージ

## 2006

平成18年

### フラワーユニット「HEART」と専属契約

ロンドンを中心に活躍するフラワーヨーディネーター山上樹一氏と、ウェディングプロデュースを手がける森田加代子氏。ふたりのフラワーユニット「HEART」と専属契約を締結した。



フラワーユニット「HEART」

## 2007

平成19年

峠クルージングが行われた。式典では神田代表の挨拶や最優秀協力業者の表彰などが行われ、お互いの親睦を深め合った。

さらに、平成10年8月に管理者養成、後継者育成を目的としてスタートした「神田塾」は、平成11年7月に「忠塾(まことじゅく)」に改称され、1月12日に100回の節目を迎えた。

ウエディングにおいては、SPACE(空間)、ENVIRONMENT(環境)、DESIGN(デザイン)、CEREMONY(セレモニー)、HOSPITALITY(おもてなし)の5項目で最上級を目指す「FIVESTAR WEDDING」のコンセプトが誕生した。

一方(株)サンファミリーは、山口県下関市から岩手県盛岡市に本社を移転し、(株)岩手新生活互助会より会員を引き受けた。また、これを機に東北地区での店舗展開が始まった。

愛グループが東北地区に躍進する一方で、大阪地区では典礼会館が相次いでオープンし、激戦区で愛グループの地盤を築いた。



式典 星野仙一氏特別講演

また、2月には「アンジェリカ ノートルダム」が、約5,000坪の広大な敷地にオープン。教会は、ノートルダム大聖堂からシスター・チャーチとして名称の使用を許された。

さらに、少子高齢化が進むなか、愛グループとして介護事業への取り組みが始まった。8月、地上の楽園という意味を持つ「シャングリラ(下関)」が誕生。デイサービス施設とサービス付高齢者向け住宅を備え、個別リハビリプログラムを豊富に設定した。



シャングリラ(下関)

## 2007

平成19年

### 35周年の節目「創業元年」を宣言

愛グループは35周年の節目を迎え、2月5日、神戸ポートピアホテルで記念式典が行われた。

また、愛グループが日頃お世話になっている協力業者様で構成する「CLUB Aii」を発足。会員相互の親睦と繁栄を目指して毎年盛大な総会が企画され、5月28日は、記念式典として協力業者様を豪華客船ふじ丸にご招待し、関門海峡クルージング



豪華客船ふじ丸で関門海峡クルージング

## 2001

平成13年

### トレーダー愛「上海事務所」を開設

愛グループの流通部門を担うトレーダー愛は、コストダウンのため海外の市場に目を向けていた。平成9年から、オーストラリアなど一部海外取引を行ってきたが、品質はなかなか追いつかず、多数商品での本格的な取引には至ら



セント・ポールズパーク プリムローズ(岡山市)

## 2008 平成20年

## 盛岡市、福岡市に新空間登場

9月、岩手県盛岡市にあるレストランウエディングのVIA LATTEAがリニューアルオープンした。店内を全面的に改装し、名前も「CLUB VIAGE～BAR&DINING～」と新しくなった。

また11月には、福岡市のウォーターフロント、マリノアシティ福岡に、「ノートルダムマリノア」がオープンした。FIVESTAR WEDDINGのコンセプトのもと、5,000坪の広大な敷地に既成の枠を超えた新しいウエディング空間が誕生した。



CLUB VIAGE～BAR&amp;DINING～



ノートルダムマリノア



ノートルダム広島

## 2009 平成21年

## 「ノートルダム広島」誕生

青い空と瀬戸内海、そして広島の街並みが一望できる緑の高台に、1月「ノートルダム広島」がオープンした。8,000坪の広大な敷地には、天に向かって伸びる白亜の大聖堂と、3つのVilla(披露宴会場)があり、圧倒的スケールのウエディングステージをプロデュースした。

また、4月14日、15日の2日間、年間成績優秀者が参加して神田代表による招待旅行が開催された。行き先は世界遺産嚴島神社を有する宮島、そして愛グループが誇るブライダル施設「ノートルダム広島」を見学した。

平成20年7月オープンしたサンフミリー初の総合葬祭式場「盛岡北典礼会館」に続き、岩手県最大級の3階建ての葬祭会館として盛岡典礼会館がオープン。岩手県内にはさらに13ヵ所の典礼会館をオープンし、地域に密着した展開が好評を博した。



年間成績優秀者を集めての神田代表による招待旅行



盛岡典礼会館

## 2010 平成22年

## FIVESTAR WEDDINGブランドサイトー新

1月、FIVESTAR WEDDINGブランドが全施設に浸透・統一化されたことを機に、ブランドサイトを一新した。

また、ブランドサイトと各式場ホームページとの間に相互リンクを貼ることで、検索がスマーズになり、開設以降、アクセス数は顕著に増えた。

同月、福岡県那珂川町に那珂川典礼会館がオープンし、オープンフェアが開催された。2日間の来場者は4,277人、新規加入口数は578口だった。

5月には、「ノートルダム盛岡」がオープン。約2,200坪に広がる空間は、北上川や岩手山がある盛岡の美しい風景に調和するようにデザインされた。大聖堂は、銀河や月をイメージしたスタイリッシュな雰囲気。「FIVESTAR WEDDING」のコンセプトのもと、最高かつ究極のウエディングに新たな一步を踏み出した。

9月には、ヴェルジェ周南がリニューアルし、「ノートルダム周南」としてオープン。白を基調とし、水をコンセプトに生まれ変わった。オープンイベントにはCanCamモデルが登場し、新パンケット(モデル)でのウエディングドレス姿を披露した。



ノートルダム盛岡(大聖堂)



ノートルダム周南(正面噴水)



ザ・スクリーン

## 2011 平成23年

## 東日本大震災の復興に尽力

3月11日の東日本大震災では、岩手県内の各施設が被害を受けた。特に「宮古典礼会館」と「釜石典礼会館」の損傷が大きく、一時は再開の目途がつかない状態だったが、グループ一丸となって復興に向けて協力し、再開に至った。

6月26日に宮古市の市民総合体育館シーアリーナで行われた宮古市合同慰霊祭、9月23日に釜石市民体育館で行われた釜石市合同慰霊祭では、祭壇作りを始めとする全ての会場設営・運営を典礼会館が務めた。命の尊さと葬祭業の役目の重さを改めて痛感し、東北の復興に向けて地域とともに歩む愛グループの新たな使命を誓った。

一方ブライダルは3月20日、FIVESTAR WEDDINGと日本三大ファッショショナーのFACO(福岡アンドコレクション)とのコラボレーション企画を開催。FIVESTARのオリジナルウエディングドレスでファッショショナーに参加し、イベン



「FIVESTAR WEDDING by YUMI KATSURA」ドレス

トのひとつとしてシンデレラガールコンテストが行われた。

また、平成22年に開設したFIVE STAR WEDDINGブランドサイトをリニューアル。各式場ホームページもコンテンツの充実など、随時リニューアルを図り、アクセス数が一気に伸びた。

さらに、日本のブライダルファッション界の第一人者、桂由美氏とのコラボレーションが決定した。桂由美氏とのコラボレーションを皮切りに、平成24年からトレーダー愛ではドレスなど5つの分野で、ブランディング化を目指す。

愛グループは40年の集大成として、神戸港を臨む約12,500平方メートルの敷地に「ノートルダム神戸」を建設。ブライダル施設の激戦地・神戸に進出する大きなチャレンジを決めた。



FIVESTAR WEDDINGブランドサイトリニューアル



40周年記念バッジ



40周年記念ワッペン



釜石市東日本大震災犠牲者合同慰霊祭

## 圧巻の巨大スクリーンと噴水ショー、「ノートルダム神戸」誕生

### 株式会社報恩をM&A

1月、愛グループは、株式会社報恩をM&Aした。これにより、新たに周船寺斎場、今宿斎場、前原斎場、西新斎場が愛グループの仲間入りを果たした。

### へいあんファミリーをM&A

4月、山口県岩国市の互助会社「株式会社へいあんファミリー」をM&Aした。これにより、結婚式場リピエールをはじめ、6つの葬祭式場（岩国川西典礼会館、岩国南典礼会館、玖珂・周東典礼会館、岩国アーバニアホール、由宇典礼会館、柳井典礼会館）が愛グループに加わった。

### 創立40年記念式典

年明けとともに、創立40周年を記念して神戸ポートピアホテルにて、創立40周年記念式典が開催された。式典は第1班と第2班に分かれ、全国各地の愛グループスタッフが集結。第1班は1月10日に開催され、約500名が参加し、社長（現会長）訓話をはじめ、社歌・愛唱歌を全員で合唱。式典後は中村美律子さんのステージで、会場内は力強い歌声に包まれた。

第2班は2月2日に開催され、約1,500名が参加。創業期からの歴史を映像で振り返るヒストリー映像の紹介や成績優秀者の表彰が行われ、式典後は鈴木



創立40周年記念式典

雅之さんの熱いライブで盛り上がりも最高潮に。姉・聖美さんとの貴重なコラボも披露された。

さらに、式典翌日の2月3日に協力業者様500名を招いたCLUBAi総会が開かれた。島越俊太郎氏の講演や、最優秀協力業者様の表彰があり、その後のパーティでは千昌夫さんの歌声が響きわたった。

### 新ブランド「THE LOVEL」誕生、新郎新婦のこだわりを追及

新郎新婦にとって大切な5つのプライダルサービス（フォト、フラワー、ギフト、ジュエル、コスチューム）を美しく創造するため、FIVESTAR WEDDINGのオリジナルブランド「THE LOVEL」が誕生した。「THE LOVEL」とは、LOVE + Label = 愛の証、の意味。5つのプライダルサービスを徹底することで、新郎新婦のこだわりをより反映したトータルコーディネートが可能となる。新郎新婦の人生最良の日をスタッフも一体となって演出することで、顧客ニーズの多様化に応える。



Dress The LoveL（当時）

### 「ナイスライフシステム」一部利用がスター

8月1日より、「ナイスライフシステム」は冠婚葬祭や通過儀式のプランメニューをご利用いただくほかに、役務サービスの一部をご利用いただけるようになった。例えば、「ナイスライフシステム」で月掛金の一部を成人式衣裳や、法要料理に利用する等、従来よりも柔軟に対応することができる。時代の変遷とお客様のニーズにより、「ナイスライフシステム」はますます進化を続けている。

### 典礼会館

#### 愛グループ史上最多の年間21店舗がオープン

この年は既存エリアのオープンやりニューアルを積極的に行い、より利便性や快適性を高めていった。

### 北九州市にグランドオープン、「ザ・ブルー リバーオーク

4月、北九州市に小倉の中心を一望できる結婚式場「ザ・ブルー リバーオーク」がグランドオープン。リバーオーク北九州という商業施設のビルイン会場として登場したことでも話題を集めた。

4月28日、29日のオープンイベントで開催したファッションショーは、リバーオークの1F広場に立ち見のお客様が出るほど。スワロフスキーで装飾された教会での模擬挙式は、多くのお客様で賑わった。



ノートルダム神戸

大型堂プロジェクトマッピングは29日から4日間、夜8時から約10分、30分おきに3回上映され、イベント最終日の9月2日は大型堂模擬挙式やオリジナル人前式、Dress The LoveL（現：THE LOVEL COSTUME）によるファッションショー＆模擬披露宴パーティーが行われた後、グランドフィナーレでプロジェクトマッピングを上映。これまでない映像演出はお客様に感動を与えた。

### WEB限定ドラマティックムービー 菓々緒さん主演 「カレイドスコープ」配信

FIVESTAR WEDDINGは、プライダルプロモーション企画として約6分間のドラマティックムービー「カレイドスコープ」を作成し、WEB限定で配信した。カレイドスコープとは万華鏡の意味。主演の菓々緒さんは、都会の生活に疲れたOL役を演じ、3代目万華鏡職人・敦司と知り合うことで新たな運命に導かれていく。監督は独自の世界観を持つ新進気鋭の柿本ケンサク氏が務め、主題歌「キミへ」は絢香さんが担当した。みずみずしい感性とFIVESTAR WEDDINGのクオリティが生み出すウェディングシーンの数々は、新たなファン層獲得の一翼を担った。



ノートルダム周南 大聖堂プロジェクションマッピング



「カレイドスコープ」主演の菓々緒さん

# 2013

平成25年

## 青森県初のブライダル施設「ノートルダム八戸」オープン

### 代表取締役会長、新社長就任

愛グループの代表取締役社長、神田忠が代表取締役会長に就任し、新社長には神田輝が就任した。

### 6つのパンケットで話題沸騰、「デュクラス大阪」誕生

9月、新大阪「パレス愛新大阪」は「デュクラス大阪」に生まれ変わり、ロケーションにも恵まれた新大阪エリアにモダンでスタイリッシュな空間が誕生した。デュクラス大阪のコンセプトは、“都会の喧騒を忘れさせる静けさと、愛を誓うふさわしい厳かさが同居する空間”。チャペルは清らかなホワイトカラーで統一され、約20万個のスワロフキーが輝き、星空のように煌めくバージンロードが花嫁をより美しく輝かせる。

バリエーション豊かな6つのパンケットは、選び抜かれた大人のホスピタリティにあふれ、おふたりの理想のスタイルが叶えられる。



デュクラス大阪

### 1チャーチ・1パンケットの貸切空間、「ノートルダム八戸」オープン

青森県に、愛グループ初のブライダル施設「ノートルダム八戸」が誕生。格式高い建築様式は、歴史と伝統ある八戸の地にふさわしくロケーションにも溶け込み、訪れるゲストを幸福な時間で包み込む。



ノートルダム八戸

### 1チャーチ・1パンケットの貸切空間、「ノートルダム八戸」オープン

チャーチは、白を基調とした清潔で上品な空間に柔らかな自然光が差しこみ、一生に一度のセレモニーにふさわしい雰囲気が漂う。また、約9mの巨大スク린による映像演出が可能なパンケットもあり、スタッフが総力を挙げて感動の一日をプロデュースする。

### 2年連続モンドセレクション 金賞受賞

愛グループがブライダルで取り扱う引菓子は、経験豊かなパティシエが吟味を重ねて作り上げたもの。2012年(平成24年)は、「ダックワーズ」と「そばときな粉のマドレーヌ」が金賞を受賞し、2013年(平成25年)は、「ロイヤルスイートバーム

クーヘン」が金賞を受賞。2年連続の快挙となった。

「ロイヤルスイートバームクーヘン」は、上質の発酵バターとアーモンドブドウを使用し、素材が持つ風味を十分に引き立て、よりしつつソフトな口当たりに仕上げたことが最大の特長。シェフパティシエの緑川孝一は、「新郎新婦のこれから重ねる時間を年輪に見立てたバームクーヘンは、結婚式には欠かせないアイテム。世界で認められた美味をぜひ味わっていただきたい」と受賞の感想を述べた。



ロイヤルスイートバームクーヘン

### 14店舗の典礼会館がオープン 積極的な全国展開が続く

典礼会館は、2012年(平成24年)の史上最多21店舗に続き、2013年(平成25年)も全国で14店舗の典礼会館がオープンした。なかでも東北の展開は著しく、1年で秋田県、宮城県、青森県の3県に7店舗が新たに誕生した。

#### 2月

岡山中央典礼会館(岡山県岡山市)  
平野典礼会館(大阪府大阪市)

#### 5月

大竹典礼会館(広島県大竹市)

#### 6月

尼崎典礼会館(兵庫県尼崎市)  
能代典礼会館(秋田県能代市)

#### 7月

遠賀典礼会館(福岡県遠賀郡)  
宮城野典礼会館(宮城県仙台市)  
湯沢典礼会館(秋田県湯沢市)

#### 9月

秋田南典礼会館(秋田県秋田市)

#### 10月

門司典礼会館(福岡県北九州市)  
森小路典礼会館(大阪府大阪市)  
太白典礼会館(宮城県仙台市)  
青森南典礼会館(青森県青森市)

#### 11月

弘前典礼会館(青森県弘前市)



尼崎典礼会館



遠賀典礼会館



湯沢典礼会館



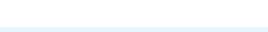
秋田南典礼会館



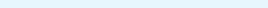
門司典礼会館



太白典礼会館



青森南典礼会館



弘前典礼会館



平野典礼会館

# 2014

平成26年

## 京都2店舗目の結婚式場『室町ステージ ザ・スクリーン』グランドオープン

### 「ノートルダム宇部」 TOKIWAファンタジアで ドリーム賞受賞

12月、山口県宇部市で開催されたイルミネーションイベント・TOKIWAファンタジアで、「ノートルダム宇部」がドリーム賞を受賞した。TOKIWAファンタジアは、ときわ公園の冬を彩るイルミネーションイベントで、企業や学校などの団体が趣向を凝らしたイルミネーションを展出する全国でも珍しいコンテスト形式のイベント。

期間中は8万5000人以上の来場者が訪れ、ノートルダム大聖堂をかたどったイルミネーションは多くのカップルやファミリーを魅了すると同時に、地域貢献の面でも大きな意義を見出した。



ノートルダム大聖堂をかたどったオブジェの中に、実際の大聖堂の紹介動画が流れ、中央には幸せの鐘が設置された

### 奈良エリア初進出! リニューアルオープンした 平城典礼会館

万葉メモリアルホールがリニューアルして、1階と2階の出入り口が完全に違う分階型の典礼会館として奈良県奈良市にオープンした。

### 愛グループ初 1DAYインターンシップ

フェューホーラル業界は、高齢化社会のニーズにより、就職活動をする学生にとって成長産業と見られている。また、業界研究や企業選びの一環として、企業のインターンシップに参加する学生が増えていることから、愛グループも1DAYインターンシップを実施した。

12月17日は橋本典礼会館にて女性7名が参加、12月19日は京都典礼会館にて男性3名、女性7名が参加。インターンシップの内容は、この業界の成長性や「生きる、お葬式。」のコンセプトについて、会社選びや仕事選びをするまでのアドバイスをはじめ、施設見学や焼



橋本典礼会館での様子

香・入棺体験、新卒の先輩スタッフを交えた座談会と盛りだくさん。人財開発部にとっても就職活動前の学生とふれあう有意義なインターンシップとなった。

### コーポレートWEBサイトをリニューアル、 愛グループの「顔」が数多く登場

愛グループはパートも含み従業員数が5,000人を超える企業となり、ホームページのリニューアルを図った。新たにリクルートページが追加され、サービス業として大切な「人」が数多く紹介されていることから閲覧数の増加に繋がった。

また、全国に展開するブライダル施設の各ホームページも、FIVESTAR WEDDINGのブランドイメージで統一され、より洗練されたデザインに刷新された。



WEBサイト

### 「PHOTONEXT2014 ウェディングフォト・アワード」金賞受賞

「PHOTONEXT2014ウェディングフォト・アワード」は、国内最大規模のウェディングフォト・コンテストの一つ。フォトスタジオ愛所属の尾崎修スタッフが応募した「Escort～手を伝うジジ達の想い」は、全国から寄せられた714作品のなかからベストショット部門にて金賞を受賞した。

写真は、お色直しのために退席する新婦のエスコートを祖父二人が務めるワンシーン。ご列席のゲストも、披露宴会場にいたスタッフも、印象的な場面だった。尾崎スタッフは「今後も今まで以上にスキルを磨き、受賞作品に負けない素敵な写真を撮り続けたい」と受賞の感想を語った。



金賞を受賞した尾崎修スタッフ



室町ステージ ザ・スクリーン



室町ステージ 自然光があふれる純白のチャーチ



室町ステージ オープンイベントの生演奏

水面のゆらめきと柔らかな自然光が天から降り注ぐ純白のチャーチで、神聖な魅力が高まる。1チャーチ2パンケットで、細部までこだわりぬいた新感覚のデザイン空間を堪能できる。

### 結婚式の新しい創り方「AI'S」開発

お客様の好みの変化やさらなる満足度の追求など、時代のニーズに対応し、愛グループ独自のブライダルの新しい取り組み「AI'S(アイズ)」がスタートした。「AI'S」は、5つのステージそれぞれに個別のテーマを設定し、プロとしてトータルコーディネートを行なながらお客様と一緒に結婚式を創り、テーマを全体で共有することで統一感のあるブライダルを実現することを目的としている。テーマは、STYLE、STORY、SENSE、SCRIPT、STAGEの5つ。これらを一つずつ創り上げていくことで、選択するブライダルからクリエイト(創造)するブライダルへと生まれ変わり、新郎新婦の参加意識の向上とともに、より楽しみながらおふたりらしい結婚式が叶えられる。

2015

平成27年

## 四国に初上陸!都市型ウエディング「ザ・グライト」オープン

### 長崎「弓張の丘ホテル」をM&A

長崎県佐世保市の西海国立公園内に建つリゾートホテル「株式会社弓張の丘ホテル」が愛グループに仲間入りした。日本夜景遺産にも選ばれた佐世保市街地を一望できるロケーションを誇る弓張の丘には、高級感あふれるラウンジやプールを完備。今後のFIVESTAR WEDDINGとのコラボに大いに期待が高まる。

「弓張の丘ホテルとは?」  
2015年3月に国立公園指定60周年を迎えた西海国立公園において、屈指の眺望を誇る標高364mの弓張岳の頂上近くに位置する。テラスから九十九島(周辺海域の208の島々の総称)の風景とラウンジからの夜景がすばらしく、人生のセレモニーを行うロケーションとしても最適の環境で憧れのウエディングを叶えられる。



弓張の丘ホテル

### 仙台「MJQ WEDDING」をM&A

宮城県仙台市で絶大な人気を誇る「MJQ WEDDING」を運営する「株式会社エムジェイキュー」が、愛グループに仲間入りを果たした。株式会社エムジェイキューは1994年(平成6年)12月に設立し、当初はイベントなどを手掛け2002年(平成14年)ごろからブライダル事業を本格化。仙台のブライダル市場に新たな風を吹き込み、趣向を凝らした施設は4式場に拡大。

事業譲渡にあたり、神田会長と三浦顧問による記者会見が仙台市内で開かれ、新聞でも報じられるなど大きな話題となった。

「MJQ WEDDINGとは?」  
宮城県仙台市で、年間約700組の結婚式をプロデュース。固定概念や業界の慣例にとらわれず、グラン・スイート、ディア・クルール、定禅寺ガーデンヒルズ迎賓館、ザ・オリエンタル スイート・ヴィラの4式場で、新しい結婚式を創造する。

### 「PHOTONEXT2015 ウエディングフォト・アワード」 金賞受賞

5月、「PHOTONEXT2015ウエディングフォト・アワード」が開催され、全国のブライダルフォトグラファーから寄せられた800作品以上のなかからノートルダムセントティ・スタジオ専属フォトグラファー武田知法スタッフの作品「HIKARI」がベストショット部門の金賞を受賞した。



武田知法スタッフの作品「HIKARI」

### 「防府グランドホテル」「リビエール」が リニューアルオープン

8月、山口県防府市の新しい顔として、「防府グランドホテル」がリニューアルオープンした。特長は、おもてなしを重視する大人層をターゲットに、愛グループで山口県内初のオープンキッチンを採用し、ワインセラーを設えた県内最高峰のスイートルームを完備したこと。またモートンベースの外観に変更するなどビジネスホテルとの差別化にも成功し、VIPのお客様が増加するなどの効果が表れている。

ブライダルでは、新郎新婦様やゲストの皆様に宿泊とセットでゆったりと過ごしていただける「STAY WEDDING」を提唱。新たな装いに、県内外からも大きな注目を集めました。

9月、山口県岩国市の結婚式場「リビエール」が、リニューアルオープンを迎えた。最大のポイントは会場を一つなくしてラウンジを作り、ゲストの待機場所からチャペルへの導線を変更したこと。これにより貸切感が高まり、お客様の満足度アップに繋がった。またプロジェクトマッチングの導入が話題となり、ゲストの反応もアンケート評価もアップ。「想いを紡いで、新たなおもてなし空間へ」というコンセプト通りのブライダル施設が誕生した。



リビエール

### ラフォーレ原宿・松山の跡地に、 都市型ブライダル施設 「ザ・グライト」誕生

8月、愛媛県松山市で若者に人気を博したラフォーレ原宿・松山の跡地に新設された13階建ての「アエル松山」に、四国初となるブライダル施設「ザ・グライト」が誕生した。商業施設やホテルなどとともに複合施設の一環として構成され、愛グループでは2式場目となるビルインタイプのブライダル施設。

RIGHTの語源は「Grand(華やか・壮大)」と「Light(光)」を組合せた造語で、これからも新しい「都市型ウエディング」を通じて、最高のおもてなし空間を全国に発信する。

### 初めての滋賀県進出 栗東典礼会館がオープン

栗東典礼会館は、滋賀県の栗東市・草津市・守山市の3市に面した立地にオープンし、さらなる関西エリアの拡大となった。

オープニングイベントでは大勢の方が来場した。この地域は代々続く世帯と若い世帯が混在しており、葬儀に対して真剣にお考えの方が多く、スタッフの話を興味深く聞いていた。



栗東典礼会館



ザ・グライト

### テーマウエディングの祭典 第1回「AI'Sコンテスト」開催

「AI'S」とは、STYLE、STORY、SENSE、SCRIPT、STAGE5つのそれぞれに個別のテーマを設定し、プロとしてトータルコーディネートを行いながらお客様と一緒に結婚式を創り上げること。「AI'Sコンテスト」は、ブライダルスタッフが職種を越えて一つのチームになることに意義があり、実際に具現化したテーマウエディングをさまざまな視点から評価を行う。

第1回は52件ものエントリーがあり、一次選考では、顧客満足度、ボリューム評価、クリエイティブ評価、総売上達成率目標対比の4項目を審査され、選ばれたファイナリスト10名がプレゼンテーションによる二次選考に進んだ。グランプリに輝いたのは、アンジェリカ・ノートルダムの「アトリエ WEDDING ~GOKAN~」が具体的に表現され、新郎新婦とゲスト、ブライダルスタッフが一体となった点が評価された。

### 「WORK STATION Ai (就業支援室)」オープン

社会活動の一環として「協働」への取り組みを重視し、障がい者雇用を推進する部署「WORK STATION Ai(就業支援室)」がオープンした。ここでは、文書のデータ化や個人情報の破棄、画像サーバの構築と運用、ホームページのソースの置き換えなど、軽作業から専門性の高い作業まで、「部門にとらわれない」さまざまな業務を行っている。愛グループでは、就業支援室をきっかけとし、障がい者雇用をさらに推進する。



WORK STATION Ai(就業支援室)

# 2016

平成28年

## 首都圏にふさわしいスタイルを発信、「ノートルダム横浜みなとみらい」

### 首都圏初進出

#### 「ノートルダム横浜みなとみらい」グランドオープン

8月、愛グループにおいて首都圏初進出となる「ノートルダム横浜みなとみらい」が誕生した。コンセプトは「洗練された大人のためのNYマンハッタンウエディング」。歴史的建造物が残る閑内エリアと近未来的な建造物が建ち並ぶみなとみらいに愛グループの想いが集結し、これまでにない結婚式場を生み出した。



THE OCEAN



THE WAREHOUSE



ノートルダム横浜みなとみらい



大阪流通センター



アンバスカフェ オリジナルコーヒー



ノートルダム下関



2階ロビー

#### 大阪流通センター移転増床オープン

愛グループの規模拡大に伴い、8月、大阪流通センターは大阪府寝屋川市から枚方市に移転。利便性の向上と5階建てビルの増床により、流通機能が格段に高まった。ここでは主に、近畿エリアのブライダル・葬祭施設の現場サポートを行い、衣裳管理やクリーニングをはじめ、印刷センター、資材配送、ペストリー、包装センター、生花センター、加工ブーケ事業など多種多様の部署が機能し、現場スタッフに届ける商品サポートに努めている。

#### 純白のセレモニー「ノートルダム下関」グランドオープン

9月、グランプラス セント・ヴァレンタインは、「ノートルダム下関」としてグランドオープンを迎えた。JR下関駅から徒歩1分の絶好のロケーションに位置し、3タイプのパンケットや美しいガーデン、プライベート感あふれる贅沢な雰囲気のなかで、上質なハウススタイルのパーティが実現できる。

JR下関駅直結の2階には「UNPASS CAFE(アンバスカフェ)」がオープン。地元農園の新鮮な食材と独自焙煎のコーヒーが楽しめる、下関のニューシンボルとして注目を集めている。

#### 映画「八重子のハミング」、 萩典礼会館など撮影舞台に協力

2016年(平成28年)秋、数々の話題作を手掛ける佐々部清氏が監督を務める映画「八重子のハミング」が公開され、愛グループは撮影協力を行った。「介護を通じた人間愛」をテーマとするこの作品は、山口県下関市出身の佐々部監督たっての希望により、撮影場所は山口県萩市となった。撮影舞台として萩典礼会館などを提供し、公開にあたっては山口県で先行ロードショーが行われた。



神田代表と佐々部清監督



撮影風景



#### 「ノートルダム大阪ベイ」 プロジェクト始動

大阪市に誕生する「ノートルダム大阪ベイ」の新設工事が、いよいよ着工を迎えた。地上70mから、天保山やあべのハルカスを望む絶好のロケーションを誇り、ユニバーサルスタジオジャパンに隣接している。愛グループがプロデュースする「天空のウエディングステージ」に早くも注目が集まっている。



ノートルダム大阪ベイ

# 愛グループ 5年間のM&A

愛グループはブライダル事業においてM&Aを行い、  
宮城県仙台市と長崎県佐世保市に新たな拠点を広げた。



4月23日、仙台市で開かれた記者会見で、神田代表と三浦顧問が固い握手を交わす

## 仙台の「MJQ WEDDING」が、 愛グループに仲間入り

2015年(平成27年)4月、愛グループは、宮城県仙台市で絶大な人気を誇る「MJQ WEDDING」を運営する株式会社エムジェイキューが、愛グループの一員に加わることを発表した。株式会社エムジェイキューは1994年(平成6年)12月に設立し、当初はイベントなどを手掛け2002年(平成14年)ごろからブライダル事業を本格化。仙台のブライダル市場に新たな風を吹き込み、趣向を凝らした施設は4式場に拡大していた。

2015年の事業譲渡にあたり、神田代表と三浦顧問による記者会見が仙台市内で開かれ、新聞でも報じられるなど大きな話題となった。「MJQ WEDDING」と「FIVESTAR WEDDING」のコラボレーションによる、新たなウエディングスタイルの誕生に大きな期待が寄せられている。

### ◆仙台で人気を誇る直営4式場



gran・スイート



ディア・クルール



定禅寺ガーデンヒルズ迎賓館



ザ・オリエンタル・スイート・ヴィラ

**MJQ全株式を譲渡**  
新規事業として日本セレモニーに  
花ブーケ&ドライブーケBOXの製造販売を  
手掛ける大阪市の株式会社ミス・プラネット  
が仲間入り。ミス・プラネットは1987年(昭和62年)  
に創業、関西一円のホテル、挙式場、フラワーショップと提携を結び、累計約3万本の  
押し花ブーケ額を製作、販売の実績がある。  
またドライブーケBOXにおいては、ブーケをドライフラワー加工し、優雅な光沢を放つ  
特殊なアクリルBOXに収めた「PRISM(プリズム)」が人気を集めている。

ミス・プラネットが仲間入りしたことで、愛グループの技術力および生産力を高め、自社商品の品質向上への期待が一層高まっている。

日本経済新聞

## 長崎の「弓張の丘ホテル」が 愛グループに仲間入り

仙台「MJQ WEDDING」に続き、2015年(平成27年)9月には長崎県佐世保市の「株式会社弓張の丘ホテル」が愛グループに仲間入りし、愛グループのグループ企業として新たなスタートを迎えた。「弓張の丘ホテル」は西海国立公園内に建つリゾートホテルで、1996年(平成8年)に開業。日本夜景遺産にも選ばれた佐世保市街地を一望できる絶好のロケーションを誇り、地域のお客様をはじめ、国内外の多くのお客様から愛されている。テラスからは九十九島の美しい風景を望むことができ、南欧風の建物内には100室余りの客室とチャペル、宴会場、レストラン、展望浴場などの施設が充実している。

ブライダルコンセプトは、佐世保市で一番空に近い結婚式場をイメージした「天空のウエディング」。コバルトブルーに輝く空と海を借景に、愛グループの「FIVESTAR WEDDING」が新たな世界観を創出し、人生のセレモニーをプロデュース。



社員説明会



大自然に囲まれた天空のホテルは、佐世保湾と市街が一望できる全面オーシャンビュー。高級感あふれるラウンジや眺望を見晴らすプールサイド、夕陽や夜景を望む絶好のロケーションで笑顔あふれるウェディングを叶える



9月30日、弓張の丘ホテルにて行われた調印式



## 「ミス・プラネット」が仲間入り 自社商品のクオリティ向上に繋げる

2016年(平成28年)、愛グループに、押し花ブーケ&ドライブーケBOXの製造販売を手掛ける大阪市の株式会社ミス・プラネットが仲間入り。ミス・プラネットは1987年(昭和62年)に創業、関西一円のホテル、挙式場、フラワーショップと提携を結び、累計約3万本の押し花ブーケ額を製作、販売の実績がある。またドライブーケBOXにおいては、ブーケをドライフラワー加工し、優雅な光沢を放つ特殊なアクリルBOXに収めた「PRISM(プリズム)」が人気を集めている。

ミス・プラネットが仲間入りしたことで、愛グループの技術力および生産力を高め、自社商品の品質向上への期待が一層高まっている。